

十月は「くすりと健康」月間です。

おくすりを服用される皆様へ

包装シートの誤飲の事例が増えています！

最近、包装シートのまま誤ってくすりと一緒に飲み込んでしまう例が増えています。

誤って飲み込んでしまうと重大な傷害に！

包装シートが、食道や胃などに突き刺さって、穴をあけるなど重大な傷害を招くことがあります。



Tea タイム

病院にはありえないもの...

- ・ポイントカード
- ・割引券
- ・食堂で食べ放題
- ・シュクボックス
- ・アメリクウ
- ・記念スタンプ
- ・生ビール
- ・占い診断



誤飲の原因は「ついうっかり」です！
年齢に関係なく、外出時にあわてて服用した「会話しながら服用した」「暗い所で服用した」など、ついうっかり飲み込むことが多いようです。
うっかり誤飲を避けるためには、一錠ずつ小さく切り離さないで！
包装シートは、一錠ずつ小さく切り離さないで、そのつど、お薬だけを取り出して服用してください。誤飲防止のため、タテの分割線を廃止した包装シートが多いです。

異動

退職 (九月まで)

* 坂本 武 (臨時警備員)
* 村上百合枝 (臨時事務員)

採用 (九月まで)

* 金子 洋一 (診療放射線主任)
* 小西あけみ (臨時准看護師)
* 佐々木 学 (臨時警備員)



あとがき

先日、西郷町健康福祉祭で介護の問題を取り上げた「折り梅」という映画を見ました。義母政子(吉行和子)がアルツハイマー型痴呆症であることがわかった。止められない病状と家族の混乱に主婦巴(原田美枝子)は、精神的にも肉体的にも追い詰められてゆくが、ありのままを受け入れることで、それが家族の絆になり、自分自身の世界も広がってゆく。人は病気になるのも心は変わりません。その強さはまるで、折れても花を咲かせる梅のようです。しかし、水がないとおれてしまう植物のように、誰かの理解がなければ生きてゆけない弱さもまた人間です。困難な状況の中で、人と正面からつきあうことの大切さを教えてくれるこの映画は、病气や介護の問題だけでなく、多くの人に問題提起し、多くの人に感動を与えることができる作品です。機会があれば、是非ご覧になってください。